

志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ「イマジン ロータリー」
2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」
2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎「新たな一歩」

第2347回 移動例会

2022-9-21

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 上原 実 副SAA
- ◎四つのテスト 上原 実 副SAA
- ◎ゲスト 木村 美香様(志木市教育委員会)

「会長挨拶」

会長 小林八郎



早いもので昨日彼岸入りし、暑さ寒さも彼岸までといいますが、台風14号などの台風が頻繁に発生し、気象変動が激しい昨今です。九州・沖縄地方などは経験をしたことがないレベルの暴風、最大級の警戒と報じられるほど、コロナと合わせて、今まで以上に注意が必要になっています。

また、先日の敬老の日では、日本で100歳以上の方の人口が過去最多の9万人を超えました。私たちも健康寿命を延ばして天寿を全うしましょう。

さて、本日は、ロータリアンでもある緩和ケアの医師・関本剛さんの話をご紹介します。関本さんは、神戸市灘区にある関本クリニックという、がん患者の在宅ホスピスケアの院長でした。24時間体制で訪問診

療や訪問看護などを行ってきた関本院長は、約1000人の看取りに携わっていましたが、ご自身も肺がんに襲われ、今年4月19日45歳の若さで息をひきとりました。

その関本さんの「お別れの挨拶」というユーチューブ動画が話題になっていましたので見ましたところ、自分の葬儀でまさに流してもらおうと関本さんが生前に語ったお別れのビデオメッセージでした。

関本さんが好きだった、エルガー作曲の『威風堂々』のメロディーをBGMに、関本さんは明るく穏やかな語り口で話します。(略)

ビデオメッセージで「職業奉仕」という言葉が出てきたので、調べてみたら関本さんは神戸東ロータリークラブのメンバーで、本を執筆していたり卓話もしたりといろいろと取り組まれていたようです。(略)

関本さんの著書『がんになった緩和ケア医が語る「残り2年」の生き方、考え方』も気になり、読んでみたところ、末期がんと闘い、余命を意識しながら仕事と向き合い続ける関本さんの生きた証が読み取れます。当時、9歳と4歳の子ども、家族ともっと一緒に時間を作りたい、思い出を残してやりたかったと、さぞ心残りがあったことかと思えます。関本さんの母親も緩和ケアの医師なのですが、その元気な母親から「できることなら代わってやりたい」という言葉が示しているとおり、45歳というあまりにも短い人生、運命を受け入れる、関本さんの率直な気持ちが綴られていました。

その本で最も印象的だった言葉は「人は、生きてきたように死んでいく」です。あまり詳しく言ってしまうとネタバレになってしまいますので、ユーチューブのメッセージと併

せてご一読をお勧めします。

さて、本日は尾崎征男実行委員長が率いられた創立 50 周年記念事業の集大成ともいえます記念誌が完成しました。記念誌の星野副委員長をはじめ委員の皆様におかれましては、昭和 47 年の初代から全ての会長の写真を探したり、希望の風や川街、米山奨学生の受け入れ実績など、数多くのデータも調べたりと、ご苦労があったと察せられます。今後迎える数多くの新会員にとっても、志木クラブの 50 年間の歩みがこの 1 冊で分かり、そしてまた、諸先輩方が連綿と繋いでこられた志木ロータリークラブの伝統と歴史を刻んでいる記念誌の完成に、敬意と感謝を表したいと思います。ありがとうございました。

「幹事報告」

幹事 吉原 正



1. 地区事務所より 3 件受信
 - ①RI 第 2570 地区「会員増強と IT 推進に関するアンケート」協力依頼
 - ②2022 年度米山梅吉記念館訪問研修旅行の案内
 - ③地区大会オンライン Zoom 参加について
2. 第 2 グループより第 1 回臨時会長幹事会（書面決議）決議報告受信
3. (社福)志木市社会福祉協議会より、令和 4 年度同協議会会員加入について

「志木 RC 創立 50 周年記念誌

発刊について」

編集委員長 星野博之

志木 RC の皆様には日頃よりご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。

長引くコロナ禍によりお待たせすることとなりましたが、皆様方のご協力のもと、無事志木 RC 創立 50 周年記念誌を発刊することができました。この「創立 50 年誌」が、会員



の皆様方の当会に対する一層のご理解に繋がるものとなりますよう、願っております。

志木 RC は昭和 47 年に設立され、諸先輩方の多大なご尽力とご支援により引き継がれ、現在に至っております。今回の記念誌作成にあたっては、15 周年・30 周年・40 周年・45 周年の記念誌を参考とし、継続性を持たせるようにいたしました。

作業を進める上で、歴代会長方のお写真の収集には特に苦心いたしました。このように無事に掲載することができ、誇らしく思っております。

またその中で、諸先輩方の繋いできた凌雲の志と、ご功績の偉大さと共に、そこに至る間の様々なご努力と、50 年間の歴史の意義の大きさを、改めて痛感することになりました。

皆様も是非、この紙面をめくりつつ、次の 60 年・70 年に向けて、さまざまな思いを馳せていただけましたら幸いです。

刊行にあたり、お力添えいただいた皆様に深くお礼を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

第 21 回 いろは子ども文化賞 「美術部門」審査会

「卓 話」

「令和 4 年度 いろは子ども文化賞

美術部門審査会にあたり」

志木市教育委員会学校教育課
指導主事 木村美香様

本日は志木ロータリークラブ例会の開催に際して、志木市教育委員会を代表して、ご挨拶申し上げます。

小林八郎会長様をはじめ、志木ロータリー

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

第 2 グループ各 RC 例会日・会場一覧(順不同)

■朝霞 RC 毎週(火) 12:30～ 埼玉りそな銀行朝霞支店 ■新座 RC 毎週(木) 12:30～ ペルセゾン

■朝霞キャロット RC ②④(月) 19:00～ スマイルホテル 3階ホール



クラブ会員の皆様には、日頃より、本市の教育に様々なご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

また、いろは子ども文化賞に関しても、特段のご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いろは子ども文化賞は、志木の子どもたちに「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」を養い、「豊かな感性、表現力、創造性を育む」ために、平成14年4月に創設されました。おかげさまをもちまして、今年度で21回目を迎えることができました。

今年度も「志木の街」「夢」「絆」というテーマのもと、

作文部門 29点、
科学部門 324点、
写真部門 320点、
美術部門 115点、
そして田子山富士塚部門 94点
総計 872点の応募がありました。

これまで、志木ロータリークラブをはじめとします地域の方々のご協力により、いろは子ども文化賞「美術部門」の優秀作品は、「ふるさと絵画集」という形で広く市民に親しまれてまいりました。

こうした作品集は、児童・生徒や保護者の方々にとりましても、大きな励みになるとともに、志木市内の小中学校図工・美術教育の発展にも大きな力となっております。

また、今年は「美術部門」に加え、「作文部門」につきましても、志木ロータリー様のご厚意で、(志木ライオンズクラブ様から引き継ぐ形で)ご協賛に了解いただきましたことを、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年度は、10月28日、29日、30日に行われる市民文化祭と共催で、いろは子ど

も文化賞受賞作品の展示を行うことになりました。

例年、市民文化祭には多くの市民の方々が足をお運びくださいます。ご家族で受賞作品を鑑賞される方も大変多く、作品を見ながら互いに会話を弾ませるなかで、ますます「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」が育まれていくことと期待しております。

皆様におかれましても、作品展の様子をご覧いただけると幸いです。

さて、これより志木ロータリークラブの皆様、いろは子ども美術部門作品のご審査をお願いいたしますが、ここに選ばれた作品は、子どもたちの目線で「ふるさと志木」を見つめたものや、「夢」「絆」をテーマに、想像豊かに表現された、優劣つけがたい作品ばかりでございます。

志木市の子どもたちの夢や絆を感じていただきながら、ご審査いただければ幸いです。

結びにあたり、いろは子ども文化賞や学校での図工、美術教育を通して、心豊かな児童生徒を育むため、今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



最優秀賞は後日、志木市より発表・表彰されます

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■和光RC 毎週(月) 12:30～ 郵便事業(株)和光支店3F ■富士見RC 毎週(金) 12:30～ 島田ビル1F
■新座こぶしRC ①③(水) 12:30～ ベルセゾン ■和光幸魂RC ②④(土) 13:00～ 和光市中央公民館

2347-3◇
志木 RC 会報



●出席報告 出席向上 委員長 内田栄信

会員数41名 出席義務者38名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
38名	4名	95.00%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(3名中0名)	90.00%	93.32%